

事業名：福祉除雪サービス事業

介護保険課 高齢福祉係

| | | | | | | | | | |
|------|----------------------|------|---|--------------|-----|------|------|-----|--|
| 政策 | 03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実 | | | | | | | | |
| 施策 | 05 高齢者福祉の充実 | | | | | | | | |
| 基本事業 | 02 介護予防と自立生活の支援 | | | | | | | | |
| 開始年度 | 平成 4年度 | 終了年度 | — | 実施計画 事業認定 | 非対象 | 会計区分 | 一般会計 | 補助金 | |

| 事務事業の目的と成果 | |
|--|--|
| 対象（誰、何に対して事業を行うのか） | |
| 70歳以上の高齢者 | |
| 手段（事務事業の内容、やり方） | |
| 社会福祉協議会への委託により、利用者の申し込み受け付けを行い、除雪業者に発注する。12月から3月までの間、公道除雪後に残される敷地出入り口の除雪を行う。 | |
| 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか） | |
| 高齢者や障がい者が冬期間も安心して地域で暮らせるよう除雪費用の一部を助成することにより、自立生活を可能にする。 | |

| 指標・事業費の推移 | | | | | | |
|-----------|------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 区分 | | 単位 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度当初 |
| 対象指標1 | 70歳以上の高齢者数 | 人 | 20,218 | 20,969 | 21,703 | 21,703 |
| 対象指標2 | | | | | | |
| 活動指標1 | 委託額 | 千円 | 10,913 | 11,695 | 12,789 | 17,193 |
| 活動指標2 | | | | | | |
| 成果指標1 | 福祉除雪利用世帯数 | 世帯 | 615 | 655 | 715 | 783 |
| 成果指標2 | | | | | | |
| 事業費(A) | | 千円 | 10,913 | 11,695 | 12,789 | 17,193 |
| 正職員人件費(B) | | 千円 | 401 | 641 | 625 | 626 |
| 総事業費(A+B) | | 千円 | 11,314 | 12,336 | 13,414 | 17,819 |

| | 事業内容（主なもの） | 費用内訳（主なもの） |
|------|--|---------------|
| 25年度 | <ul style="list-style-type: none"> 申請受付等、事務手続を社会福祉協議会に委託 住宅間口の除雪作業は、除雪業者に再委託 | 委託経費 12,789千円 |

| | |
|--|--|
| 事業を取り巻く環境変化 | |
| 事業開始背景 | |
| | |
| 事業を取り巻く環境変化 | |
| 昭和の後期から大麻地区の高齢化が顕著となり、また、団地内の道路構造上、公道除雪後の置き雪に対する改善要望が高まり、この対策が急務となったことから大麻園町地区でモデル事業として実施。その後、市内全域に広げ実施。平成5年度から利用者負担金を徴収し実施しているが、対象者は年々増加している。 | |

| | |
|--|--|
| 平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点） | |
| (1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？ | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い | 理由 根拠 高齢者の自立生活を支援し、在宅生活を支援するためには、除雪は重労働であり、介護保険の対象とならないことから、積雪地帯の生活維持のために、市が行うことは妥当。 また、介護予防の観点から、冬期間の住環境の改善は重要であり妥当。 |
| (2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？ | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業 | 理由 根拠 身体障がい者（1・2級）にあつては、自身での除雪は不可能であり、また介護者の介護負担を軽減する上で在宅福祉の充実に貢献している。 介護状態ではないが、身体的負担と思う高齢者の負担軽減により自立生活の継続への貢献度が大きい。 |
| (3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？ | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない | 理由 根拠 1年ごとに着実に利用世帯数が増加している。 |
| (4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？ | |
| <input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし | 理由 根拠 高齢化率上昇に伴い、利用世帯数が増加することから、現状のサービス提供を維持することが精一杯であり、さらなる成果向上は困難である。 |
| (5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？ | |
| <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし | 理由 根拠 低所得者を対象としたサービスのため、利用者負担の割合を引き上げることは困難である。事務経費については、経費の削減に努めている。 |